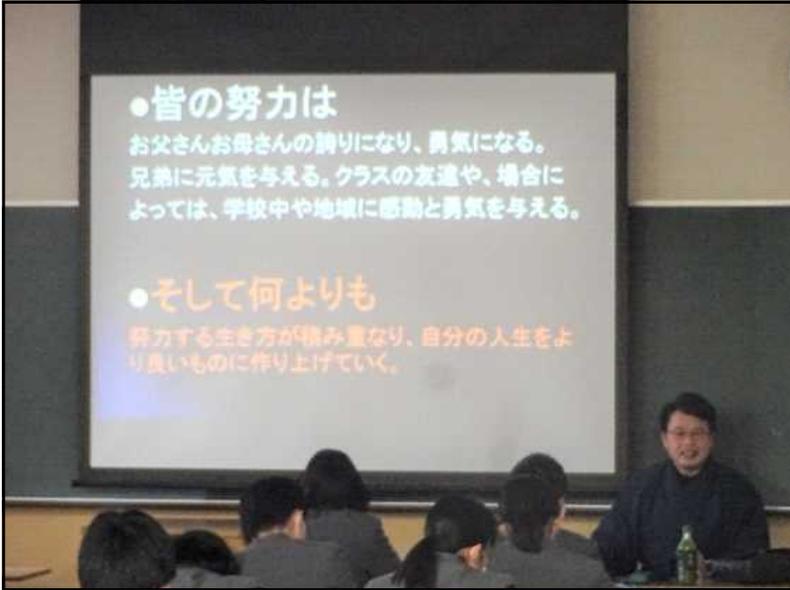


令和2年2月19日発行 中等新報第41号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

1年地域学習講演会 ～意識と行動が環境を変える～

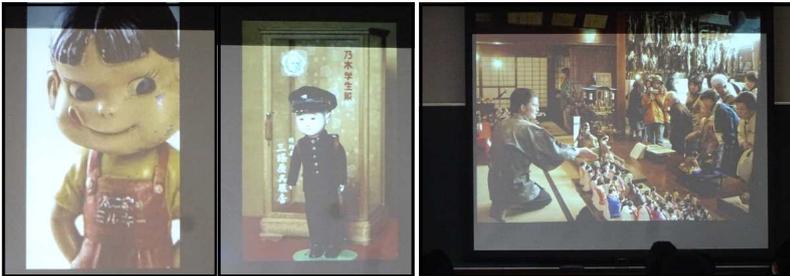


●皆の努力は
お父さんお母さんの誇りになり、勇気になる。
兄弟に元気を与える。クラスの友達や、場合によっては、学校中や地域に感動と勇気を与える。

●そして何よりも
努力する生き方が積み重なり、自分の人生をより良いものに作り上げていく。

2月12日（水）2，3限、吉川真嗣様を迎えて、1学年の講演会を実施しました。この講演会は、3月上旬に「町屋の人形さま巡り」へ参加するに当たって、今や村上の名物となっている数々の催し物などのような経緯で開催されるようになったのか、仕掛け人である吉川様から伺うことを目的として実施しました。

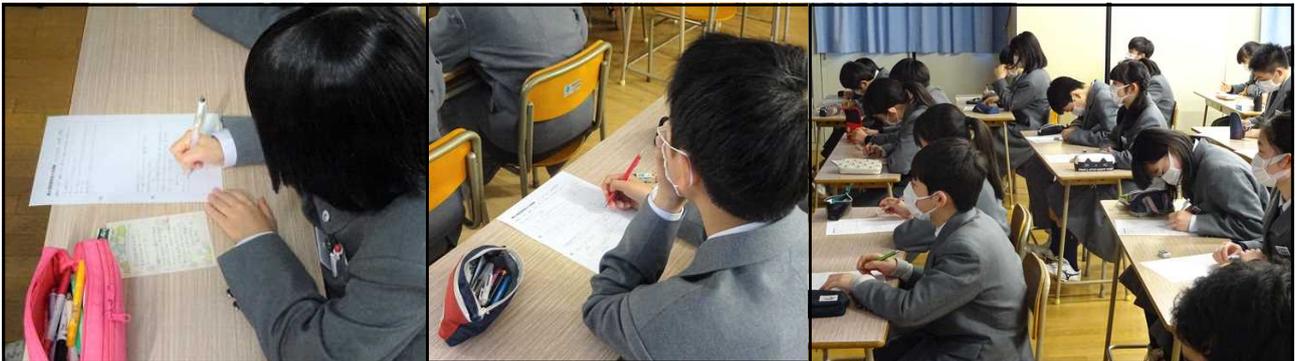
以下に、聴講した生徒の感想をいくつか紹介します。



・村上を近代化させようと、市民の意見が一致している中で、吉川さんが反対し、署名運動までしたのはとても勇気のあることだと思った。村上が昔より活性化し、観光客が増えたことを考えると、改めて「勇気を出す」ということが大事なのだと感じた。「人形さま巡り」だけでなく、「屏風祭り」、「黒塀プロジェクト」、「町屋の外観再生プロジェクト」など多くの取組を実施し、村上の良さがたくさん感じられるような町並みになったことは、村上市民としてとても嬉しい。特にすごいと思ったのは、お年寄りの方が活躍できる場ができたことだ。私たちのような若い年代の者が説明するよりも、お年寄りの方が説明したほうがくわしくていいと思った。

・吉川さんが紹介してくださった建物の中によく見かけるお店があって、「どうして村上には、見た目が昔風の建物が多いのだろう」と思っていたけれど、今考えると、確かにあの見た目の方がより村上らしい風景になるなあと感じました。最後に吉川さんが言っていた、「努力は無駄にならない」という言葉が、村上の町おこしを頑張ってきて、成功させることができた人の言葉として心に響きました。

・村上、他の場所にはまねできない、唯一無二の存在であることが分かり、村上が好きになった。吉川さんのお話の中には、「努力は消えない」「努力は無駄にならない」「夢を描けば夢は現れる」「一歩踏み出す勇気」などという言葉があった。特に、「一歩踏み出す勇気」が心に残った。吉川さんは、皆に反対されても一生懸命努力して、今のすばらしい村上を創られたから、自分も吉川さんのように、近代化などにとらわれず、自分の意見を貫くことのできる人間になりたい。自分には「一歩踏み出す勇気」が足りないと思うので、意識して生活していきたい。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>